

## 平成22年度 武生商業高等学校学校関係者評価書

学校名（福井県立武生商業高等学校）

- (問) ・スクールプランの重点目標や具体的な取組等が適切か。  
・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。  
・その他

(意見を聞いた方)

PTA会長、PTA副会長（4名）、PTA役員（6名）

(意見欄)

- ・各重点目標、具体的取組は適切に設定されていると思う。（3名）  
具体的取組で部活動に関する項目もあっていいのではないか。
  - ・学校評価書の成果と課題の分析は適切にされていると思う。（3名）
  - ・改善策、向上策については概ね評価できると思う。具体的にどのように今後対応するのが問題だと思う。
  - ・前年、前々年どのような評価であったか分からないが、継続されているものについては分析が必要。今後の課題が見えてくるのではないか。
  - ・学校、先生方が一生懸命取り組んでいるが、生徒、保護者に伝わっていないのではないか。
  - ・各項目に関して アンケートでは読み取ることができない、保護者の思いや学校に対しての要望や意見は成果と課題に反映されているのでしょうか。
  - ・「教職員の取組が目標指数に達していない、低下している」との項目についてはよく検討していただき、形にとらわれない柔軟な発想で取り組んでいただきたい。
- 学習指導 ・シラバスの見方とか、内容に関する説明の広報をすべきだ。
- 生徒指導 ・だらしない服装や短すぎるスカート等はよく指導していただきたい。  
・遅刻について教職員、生徒と保護者とのあいだに認識の違いがあることが気になる。時間を守ることは子どもたちにとっても大切なことだと思う。学校と保護者間に認識の差がないような取組を要望する。
- 進路指導 ・1・2年の保護者に説明会に来ていただけるような内容を検討すべき。案内にもできる限りの参加を呼びかけることも必要。
- 保健管理 ・家庭での部屋の整理・整頓は保護者から子どもへ指導してもらう方が一番良いのではないか。
- 開かれた学校づくり ・PTA活動について 全員参加を目標になんらかの役に付いてもらうようにした方が良い。特に配布物を渡す時に確認の印をつけて、学校に返すとか、一工夫した方が良い。  
・配布物が全保護者に渡らないのは問題だ。高校は保護者が学校に出入りする機会がほとんど無いので、活動に無関心な人が多いのだろうか。  
・PTA広報誌への期待があるので、予算を増額し、頁数を増やしたり、PTA教養部の今以上のがんばりが必要かと思う。  
・広報誌担当の一員として学校行事に参加されない保護者の方のため、いろいろな内容を載せてきた。多くの方に満足していただきたい。
- 資格取得 ・職業系高校であるので、資格取得、就職等に成果を出す指導をしていただきたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- 学習指導 ・各教科担任は、生徒に対し、各学期始めにシラバスにもとづき学習目標・計画の説明したり、学期中においてはシラバスを活用しながらの授業展開を工夫する。学校は、保護者に対して、入学式・保護者会・PTA総会・PTAだより等により説明し、理解・活用を求める。
- 生徒指導 ・服装指導、遅刻指導等で全職員での一斉指導の機会を増やす。保護者に理解と協力を求め、連携して指導にあたる。
- 進路指導 ・保護者対象の説明会内容充実に加え、生徒対象の進路行事についてもその内容を保護者に広報し、進路情報を家庭と共有しながら生徒の進路実現に努める。
- 保健管理 ・家庭での部屋の整理・整頓は、保護者が指導すべきだという意見はもったものであると思われる。しかし、身の回りの整理・整頓は学校でも指導していきたいと思う。
- 開かれた学校づくり ・PTA活動を理解してもらうために、全保護者への連絡・広報が確実に行われるよう、生徒に対してよりいっそうの指導をしていきたい。
- 資格取得 ・今後も資格取得に向けて適切な補習や家庭学習を併用することで今年度同様の成果をあげていきたい。また、社会人として必要とされるコミュニケーション力やビジネスマナーの向上のために総合実践を始めとした専門科目の中で適切な指導を行ってきたい。